



タイトル 風を聴き、土を耕す。 〜風土に生きる木の住まい〜

講評

1枚のプレゼンテーションボードに何とも懐かしい風景をただよわす住まいが目に入った。それがこの「風土に生きる木の住まい」である。その土地の気候風土を理解し活かし、木と珪藻土・和紙・自然石などの自然素材により快適な室内環境を形成すると共に、豊かでデザイン性の高い住宅建築に仕上げられており非常に印象が良い。本来あるべき環境との共生を考えた暮らしと住まいを実現した作品と高く評価できる。(審査委員：定行 まり子)

データ

- 所在地 ■ 本庄市
- 構造・階数 ■ 木造・2階
- 敷地面積 ■ 801.93㎡
- 延床面積 ■ 112.14㎡
- 建築面積 ■ 93.93㎡
- 完成年月 ■ 平成20年4月
- 総工事費 ■ 非公表
- 居住者構成 ■ 65歳以上:2人
- 設計者 ■ 奥貫 健治
- 施工者 ■ 株式会社カネザワ 代表取締役 金澤 正雄

住まい手から一言

当初より要望していた「夏・涼しく、冬・暖かい」という暮らしが実現できて満足しています。特に夏は、今年の猛暑でも殆どエアコンは利用せずに過ごすことができました。冬は、今まで住んでいた建物が隙間だらけでシングルガラスでした。この建物は外気の影響を受けないスペックにさせていただいているので、暖房をほんの少し動かすだけで快適です。